

付録

ディスクを自作しませんか



極細マーカー

用意するもの

ウレタンフォームのマット 定規で端から 47mm のハサミ、円切カッター 位置に針を刺します。カッターナイフ、長めの針 針は裏まで突き通し



ま



円切りカッターを

半径 45mm にセットします。針の穴を中心にして、円を描きます。徐々に深く切って、



軽く



マットを裏返して

こちら側も軽く円を描きます。こちらも最後は深く切ります。



うまく切り離せました。

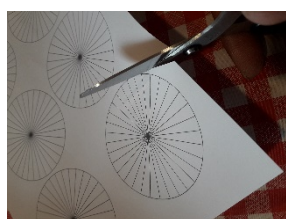


次に、中心の穴を切ります。これも表、裏から同じ要領で、切ります。



中心も切れました。中心を切るときはズレやすいので、注意。

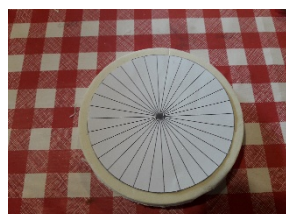
半径 12.5mm が最適です。



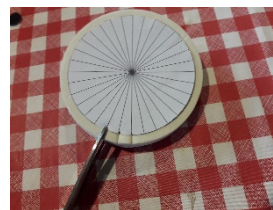
次にスロットの型紙を切って準備します。



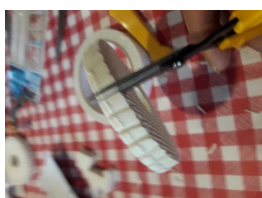
切り抜いた型紙を両目テープで貼ります。



ディスクに貼りました。



ハサミで切込みを入れます。



次にスロットの



面取りをします。

ハサミで丁寧にとって

おくと使いやすいです。 こんな風にできました。



凹凸のないほうを表にして極細マーカーで、番号を入れていきます。番号は左側のスロットに近づけて書きます。



完成です。署名しましょう。

材料のマットは市販のもので、10mm から 14mm くらいのものが適当です。

固めのものが使いやすいでしょう。

この方法で、1枚のマットから9個のディスクが作れます。慣れると短時間でたくさんのディスクが作れるようになるので、ワークショップのときなど役に立ちます。

スロットの切込みは、カッターナイフでも構いません。ハサミを使うほうが怪我の心配が少ないかもしれません。

ハサミはクラフト用のものがあれば最適です。

スロットの面取りを丁寧にしておくと、組紐を組む時にスムーズにできます。

うまくできるようになったら、64スロットや36スロットに挑戦してください。

32条の亀甲組には36スロットが最適です。

64スロットディスクは半径80mm、36スロットでは半径60mmくらいが使いやすいと思います。

10mmのマットをお使いの場合、ちょっと強度が欲しいと思ったら、二枚合わせにしてみましょう。

凹凸のある側を合わせて、強力タイプの両面テープではり合わせると、案外うまくいきます。

このとき、スロット部分に両面テープがかからないようにしてください。

組紐を組む時にべたついて、

うまくいかないことがあります。

スロットの切込みは貼り

合わせたあとで行います。

この時はカッターナイフで

切っていきます。接着剤で

貼り合わせても構いませんが、

このときもスロット部分には

接着剤がつかないほうが、

良いようです。。

